

第50期 定時株主総会 招集ご通知



Storyteller tells the Story
物語コーポレーション

証券コード 3097

日時

2019年9月25日（水曜日）

午前10時 受付開始予定時刻：午前9時15分

場所

愛知県豊橋市花田町西宿

ホテルアソシア豊橋 5階
「ザ ボールルーム」

※末尾の株主総会会場ご案内図をご参照ください。

議案

- | | |
|-------|-----------|
| 第1号議案 | 剰余金の処分の件 |
| 第2号議案 | 取締役9名選任の件 |
| 第3号議案 | 監査役2名選任の件 |

目次

第50期定時株主総会招集ご通知	1
事業報告	5
連結計算書類	27
計算書類	30
監査報告書	33
株主総会参考書類	37

証券コード 3097
2019年9月6日

株 主 各 位

愛知県豊橋市西岩田五丁目7番地の11

株式会社 **物語**コーポレーション
代表取締役社長CEO 加 治 幸 夫

第50期 定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

さて、当社第50期定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席くださいますようご通知申しあげます。

なお、当日ご出席願えない場合は、書面により議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討のうえ、同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、2019年9月24日（火曜日）午後6時までに到着するよう折り返しお送りくださいますようお願い申しあげます。

敬 具

記

- | | | |
|------------|---|--|
| 1. 日 | 時 | 2019年9月25日（水曜日）午前10時
※なお、受付開始は、午前9時15分を予定しております。 |
| 2. 場 | 所 | 愛知県豊橋市花田町西宿
ホテルアソシア豊橋 5階「ザ ボールルーム」
※末尾の株主総会会場ご案内図をご参照ください。 |
| 3. 目 的 事 項 | | |
| 報 告 事 項 | | 1. 第50期（2018年7月1日から2019年6月30日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第50期（2018年7月1日から2019年6月30日まで）計算書類報告の件 |
| 決 議 事 項 | | |
| 第1号議案 | | 剰余金の処分の件 |
| 第2号議案 | | 取締役9名選任の件 |
| 第3号議案 | | 監査役2名選任の件 |

以 上

◎当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。

◎株主総会参考書類並びに事業報告、連結計算書類及び計算書類に、修正すべき事項が生じた場合には、インターネット上の当社ウェブサイトに掲載することによりお知らせいたします。

◎当社は、法令及び定款第14条の規定に基づき、添付書類のうち次に掲げる事項をインターネット上の当社ウェブサイトに掲載しておりますので、本招集ご通知の添付書類には記載しておりません。

なお、監査役及び会計監査人が監査した連結計算書類及び計算書類は、本招集ご通知の添付書類と当社ウェブサイトに掲載しております以下に掲げる事項で構成されております。

①連結計算書類の「連結注記表」

②計算書類の「個別注記表」

◎当社ウェブサイトアドレス https://www.monogatari.co.jp/ir/ir_lib05.html

Smile & Sexy

私たちは
“Smile & Sexy”
すなわち
素敵に自由に
正々堂々、人間味豊かに
それぞれの『自分物語』
みんなの『会社物語』
を語る
Storyteller: 語り部
でありつづけます

■ 私たちの経営理念「Smile & Sexy」

「Smile & Sexy」（スマイル アンド セクシー）を端的に表現すると「自立した人間は素敵であり、自ら意思決定が出来る」というものです。この実践こそ当社の強みである「人財力」の源泉であり、物語コーポレーションが厳しい環境変化に対応し、勝ち抜くための底力であると考えて、日々その実践に取り組んでいます。



Storyteller tells the Story

物語コーポレーション

議決権行使等についてのご案内

株主総会にご出席される場合

議決権行使書用紙を会場受付にご提出ください。(ご捺印は不要です)



郵送で議決権を行使される場合

期 限 2019年9月24日（火曜日）
午後6時まで

議決権行使書用紙に賛否をご表示のうえ、切手を貼らずにご投函ください。
(上記の行使期限までに到着するようにご返送ください)



議決権行使書のご記入方法

議決権行使書
株式会社物部コーポレーション 御中

株主総会日 2019年9月25日 議決権の数 股数

私は上記議案の全部株主総会（議決権または議会の場合はその議決権）の議決権について、右記（賛否のいずれか）のとおり議決権を行使いたします。

年 月 日

株主番号

株式会社物部コーポレーション

議決権行使書用紙の裏面に記載の事項を必ずご確認ください。

議決権行使書用紙の裏面に記載の事項を必ずご確認ください。

こちらに各議案の賛否をご記入ください。

議案	原案に対する賛否	
第1号	賛	否
第2号	賛	否
	但し	を除く
第3号	賛	否
	但し	を除く

第2号議案及び第3号議案について

全員賛成の場合→**賛**に○印

全員反対の場合→**否**に○印

一部候補者に反対の場合→**賛**に○印をし、反対する候補者番号を空欄に記入

(添付書類)

事業報告

(2018年7月1日から
2019年6月30日まで)

1. 企業集団の現況に関する事項

(1) 事業の経過及び成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調が続いている一方で、米中貿易摩擦の激化や中国の景気減速懸念等、海外における不安定な政治動向や地政学的リスクの継続等の影響が懸念されるなど、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

外食業界におきましては、消費回復の傾向が見られるものの、原材料価格の高止まりや、人手不足を背景とした人件費の上昇に加え、地震や台風などの自然災害による売上高への影響により、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社グループは、郊外ロードサイドの好立地への積極的な出店を進めるとともに、積極的な既存店舗のリニューアルや新メニュー開発など、店舗の収益改善に向けた施策を進めて参りました。また、新業態「きゃべとんラーメン」「牛たん大好き 焼肉はっぴい」の開発・育成を進めるとともに、2019年4月には、愛知県小牧市に液体調味料を内製化するための工場「物語フードラボ」を開設しました。さらに、物流の効率化、人材の採用や教育面の強化、世代交代と業務執行体制の一層の強化を目的とした機構改革を実施し、中長期的な成長の実現に向けた基盤づくりにも、引き続き取り組んで参りました。

上述の取組みにより、国内既存店（注1）の売上高は、直営店においては前期比2.0%増、フランチャイズ店においては0.8%増と堅調に推移しました。

新規出店につきましては、国内において直営店30店舗、フランチャイズ店18店舗、海外において6店舗の出店を実施した結果、当連結会計年度末における当社グループ店舗数は515店舗（直営店277店舗、フランチャイズ店221店舗、海外17店舗）となりました。

以上の結果により、売上高は58,924,277千円（前期比13.0%増）、営業利益3,933,004千円（前期比17.1%増）、経常利益4,686,824千円（前期比21.2%増）となり、売上高及び経常利益において、14期連続増収増益（注2）となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は2,938,471千円（前期比23.1%増）となりました。

（注1）国内既存店とは、18ヶ月以上開店している国内の店舗を対象としております。

（注2）当該14期とは、第45期（2014年6月期）までの個別決算における9期を含めたものであります。

(2) 部門別の概況

①焼肉部門

当連結会計年度中において、「焼肉きんぐ」は18店舗の出店（直営店8店、フランチャイズ店10店）を実施しました。これにより、焼肉部門の当連結会計年度末の店舗数は235店舗（直営店140店、フランチャイズ店95店）となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は30,082,280千円（前期比11.0%増）となりました。

②ラーメン部門

当連結会計年度中において、「丸源ラーメン」は15店舗の出店（直営店9店、フランチャイズ店6店）を実施し、「きゃべとんラーメン」は4店舗の出店（直営店4店）を実施しました。これにより、ラーメン部門の当連結会計年度末の店舗数は151店舗（直営店60店、フランチャイズ店91店）となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は7,606,203千円（前期比24.7%増）となりました。

③お好み焼部門

当連結会計年度中において、「お好み焼本舗」は1店舗の出店（フランチャイズ店1店）を実施しました。これにより、お好み焼部門の当連結会計年度末の店舗数は39店舗（直営店18店、フランチャイズ店21店）となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は2,498,483千円（前期比8.1%減）となりました。

④ゆず庵部門

当連結会計年度中において、「寿司・しゃぶしゃぶ ゆず庵」は9店舗の出店（直営店8店、フランチャイズ店1店）を実施しました。これにより、ゆず庵部門の当連結会計年度末の店舗数は69店舗（直営店55店、フランチャイズ店14店）となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は10,608,233千円（前期比18.8%増）となりました。

⑤専門店舗部門

当連結会計年度中において、新業態「牛たん大好き 焼肉はっぴい」は1店舗の出店（直営店1店）を実施しました。これにより、専門店舗部門の当連結会計年度末の店舗数は4店舗（直営店4店）となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は1,024,860千円（前期比2.1%増）となりました。

⑥フランチャイズ部門

主にフランチャイズ加盟店舗からの売上ロイヤルティ・加盟金・業務受託料等であります。当連結会計年度中においてフランチャイズ店18店舗の出店を実施しました。これにより、フランチャイズ部門の当連結会計年度末の店舗数は221店舗となりました。

以上の結果により、売上高は4,047,323千円（前期比9.2%増）となりました。

⑦その他部門

主に連結子会社である物語（上海）企業管理有限公司による取組みであります。当連結会計年度中に6店舗の出店を実施しました。これにより、その他部門の当連結会計年度末の店舗数は17店舗となりました。

以上の結果により、売上高は3,056,892千円（前期比18.3%増）となりました。

各部門別の売上高は次のとおりであります。

（単位：百万円）

期 別		第49期		第50期 (当連結会計年度)		前期比
部 門		売上高	構成比	売上高	構成比	
直営店	焼 肉	27,092	51.9%	30,082	51.0%	111.0%
	ラ ー メ ン	6,099	11.7%	7,606	12.9%	124.7%
	お 好 み 焼	2,718	5.2%	2,498	4.2%	91.8%
	ゆ ず 庵	8,922	17.1%	10,608	18.0%	118.8%
	専 門 店	1,003	1.9%	1,024	1.7%	102.1%
	そ の 他	2,582	4.9%	3,056	5.1%	118.3%
	小 計	48,418	92.8%	54,876	93.1%	113.3%
フランチャイズ		3,705	7.1%	4,047	6.8%	109.2%
合 計		52,123	100.0%	58,924	100.0%	113.0%

(3) 資金調達の状況

当連結会計年度中の設備投資に充当するため、金融機関からの借入により1,600,000千円の長期資金を調達しております。

この他、新株予約権の行使に伴う増資により4,869千円を調達しております。

(4) 設備投資の状況

当連結会計年度中の設備投資につきましては、35店舗の新規出店、1店舗の改装、2店舗の建替、1工場の設立稼働を実施し、その設備投資総額は3,984,815千円（無形固定資産、長期前払費用及び差入保証金を含む）となりました。

(5) 財産及び損益の状況の推移

①企業集団の財産及び損益の状況

(単位：千円)

区 分	第 47 期	第 48 期	第 49 期	第50期 (当連結会計年度)
	(2015年 7月 1日から 2016年 6月30日まで)	(2016年 7月 1日から 2017年 6月30日まで)	(2017年 7月 1日から 2018年 6月30日まで)	(2018年 7月 1日から 2019年 6月30日まで)
売 上 高	38,781,884	44,596,716	52,123,947	58,924,277
経 常 利 益	2,620,335	3,056,038	3,865,797	4,686,824
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	1,371,628	2,072,404	2,386,244	2,938,471
1株当たり当期純利益	228円65銭	345円11銭	397円03銭	488円33銭
総 資 産	22,618,372	25,283,126	29,735,247	32,735,721
純 資 産	11,615,568	13,309,306	15,267,862	17,681,743

②当社の財産及び損益の状況

(単位：千円)

区 分	第 47 期	第 48 期	第 49 期	第50期 (当事業年度)
	(2015年 7月 1日から 2016年 6月30日まで)	(2016年 7月 1日から 2017年 6月30日まで)	(2017年 7月 1日から 2018年 6月30日まで)	(2018年 7月 1日から 2019年 6月30日まで)
売 上 高	37,647,713	43,094,289	49,565,632	55,871,953
経 常 利 益	2,714,007	2,912,215	3,671,925	4,472,197
当 期 純 利 益	1,528,854	1,869,350	2,173,919	2,990,077
1株当たり当期純利益	254円86銭	311円30銭	361円71銭	496円91銭
総 資 産	22,675,124	25,061,125	29,133,205	32,137,477
純 資 産	11,741,020	13,249,355	15,002,224	17,506,304

(6) 重要な子会社の状況

会 社 名	資 本 金	出資比率	主要な事業内容
物語香港有限公司	39,500千HK\$	100.00%	子 会 社 の 統 括 業 務 等
物語（上海）企業管理有限公司	7,000千US\$	97.14% (97.14%)	レ ス ト ラ ン 経 営
Storyteller株式会社	10,000千円	100.00%	子 会 社 の 統 括 業 務 等

- (注) 1. 出資比率の（ ）は、間接所有割合で内数であります。
2. Storyteller株式会社は、2018年8月1日に設立しております。

(7) 対処すべき課題

当社グループの属する外食業界におきましては、少子高齢化に加えて、お客様のニーズを満たす美味しい料理の提供が可能になった内食・中食市場の拡大により市場全体の縮小傾向、さらには消費者ニーズの多様化・高度化による成熟化が進んでいます。

当社グループは、従業員一人ひとりが経営理念『Smile&Sexy（スマイル アンド セクシー）』を貫徹し、「革新性」と「創造性」と「成長性」を高めることにより、『“生業店魂”の集う大企業 飲食大生業』を目指し、業容の拡大を図って参りました。

また、2025年6月期を最終期とした中期経営計画「ビジョン2025」を策定し、外食事業において、私たち独自のビジネスモデルを追求し、日本だけでなくアジアにおいても顧客・社会に価値提供できる、アジアにおける「業態開発型リーディングカンパニー」の実現を目指しております。

このためには、外部環境と内部環境のあらゆる環境の変化にも対応することにより、経営基盤をより強固にし、市場競争力を向上させていくことが大きな課題であると認識しております。このような状況のもと、以下の8点を重要施策として、企業価値を高めることにつなげて参ります。

①既存ブランドの事業拡大

「焼肉きんぐ」「丸源ラーメン」「寿司・しゃぶしゃぶ ゆず庵」を中心とした既存ブランドにおいて、店舗ごとの収益性を重視した質の高い積極出店を推進します。また、フランチャイズ加盟店による出店も引き続き推進します。

②新業態開発で更なる成長

新業態「きゃべとんラーメン」や「牛たん大好き 焼肉はっぴい」の多店舗展開に向けた準備と、新たな多店舗展開が可能な業態の開発を推進します。

③海外事業の積極展開

経済成長に伴って市場が拡大している中国や東南アジアにおいて、外食事業の成功を早期に獲得する取組みを推進します。

④既存ブランドの価値創造と再設計

時代の変化をとらえた「お客様の心のリラックス」を常に追い求め、商品の改善、新商品の開発、接客サービス、販売促進などの価値を磨き、再設計を繰り返すことで、既存ブランドの価値創造を推進します。

⑤変革を起こし続け、生産性高い開発型人材の育成

経営理念を礎として、従業員一人ひとりが組織に埋もれることなく活躍できる環境・文化・仕組みづくりに取り組みます。それにより、ホスピタリティあふれ、お客様のニーズを先読みして行動できる「人材力」、及び顧客価値を創造する業態開発や業態改善を実現する「開発力」の育成を推進します。

⑥働き方改革と多様性推進による生産性向上

仕事の効率性を高める物的・人的な投資の強化やマネジメントの見直しによる働き方の変化や、さまざまな価値観・ナレッジを持つ人材獲得などの生産性向上の好循環につなげる施策を推進します。

⑦食材調達力の向上

サプライチェーンの最適化やスケールメリットを活かした調達コストの競争力強化を推進します。また、食材調達先の多様化や加工方法の工夫等により差別化された独自性のある食材調達を推進します。

⑧成長性を支えるガバナンスの強化

持続的な成長の実現のために、経営の健全性、透明性、効率性を追求すべく、コーポレート・ガバナンスの継続的強化を推進します。

(8) 主要な事業内容（2019年6月30日現在）

当社グループは、当社及び連結子会社3社で構成されており、直営及びフランチャイズによる外食事業を営んでおります。

(9) 主要な営業所及び工場並びに店舗 (2019年6月30日現在)

①当社の主要な事業所及び工場

豊橋フォーラムオフィス (本社)	愛知県豊橋市
東京フォーラムオフィス	東京都港区
物語フードファクトリー (製麺工場)	愛知県小牧市
物語フードラボ (液体調味料製造工場)	愛知県小牧市

②子会社の主要な事業所

物語香港有限公司	本社	中華人民共和国香港特別行政区
物語(上海)企業管理有限公司	本社	中華人民共和国上海市
Storyteller株式会社	本社	愛知県豊橋市

③当社グループ店舗

(単位：店)

部 門 区 分	店 舗 形 態	直営 (国内)	F C (国内)	海外	合 計
焼 肉	焼 肉 一 番 カ ル ビ	1	2	—	3
	焼 肉 一 番 か る び	2	4	—	6
	焼 肉 き ん ぐ	134	89	—	223
	熟 成 焼 肉 肉 源	3	—	—	3
ラ ー メ ン	丸 源 ラ ー メ ン	53	89	—	142
	二 代 目 丸 源	1	2	—	3
	き ゃ べ と ん ラ ー メ ン	6	—	—	6
お 好 み 焼	お 好 み 焼 本 舗	18	21	—	39
ゆ ず 庵	寿 司 ・ し ゃ ぶ し ゃ ぶ ゆ ず 庵	55	14	—	69
専 門 店	魚 貝 三 昧 げ ん 屋	1	—	—	1
	し ゃ ぶ と か に 源 氏 総 本 店	2	—	—	2
	牛 た ん 大 好 き 焼 肉 は っ ぴ い	1	—	—	1
そ の 他	物 語 (上 海) 企 業 管 理 有 限 公 司	—	—	17	17
合 計		277	221	17	515

(10) 使用人の状況（2019年6月30日現在）

①企業集団の使用人の状況

使 用 人 数	前連結会計年度末比増減
1,384名	21名減

- (注) 1. 上記使用人の他に、臨時社員（パートタイマー及びアルバイト、人材派遣会社からの派遣社員5,218名（1日8時間換算による期中平均雇用人員））がおります。
2. 使用人数には使用人兼務取締役は含んでおりません。

②当社の使用人の状況

使 用 人 数	前事業年度末比増減	平 均 年 齢	平均勤続年数
1,122名	54名増	31.7歳	4年4ヶ月

- (注) 1. 上記使用人の他に、臨時社員（パートタイマー及びアルバイト、人材派遣会社からの派遣社員5,002名（1日8時間換算による期中平均雇用人員））がおります。
2. 使用人数には使用人兼務取締役は含んでおりません。

(11) 主要な借入先及び借入額（2019年6月30日現在）

借 入 先	借 入 金 残 高
株 式 会 社 三 菱 U F J 銀 行	1,697,518千円
株 式 会 社 み ず ほ 銀 行	1,341,216
株 式 会 社 三 井 住 友 銀 行	1,105,078
株 式 会 社 大 垣 共 立 銀 行	324,290
株 式 会 社 名 古 屋 銀 行	234,546
株 式 会 社 十 六 銀 行	220,998
信 金 中 央 金 庫	82,500
株 式 会 社 日 本 政 策 投 資 銀 行	74,800
豊 橋 信 用 金 庫	62,688
株 式 会 社 商 工 組 合 中 央 金 庫	7,030

- (注) 上記借入金残高のほかに、下記社債の当連結会計年度末残高があります。
- 豊橋信用金庫 適格機関投資家譲渡限定無担保社債 1,000,000千円

2. 株式に関する事項（2019年6月30日現在）

- (1) **発行可能株式総数** 普通株式 9,000,000株
(2) **発行済株式の総数** 6,019,501株（自己株式881株を除く）
（注）新株予約権の行使に伴う増資により7,110株増加しております。
(3) **株主数** 7,953名
(4) **大株主の状況** （上位10名）

株主名	所有株式数	持株比率
小林佳雄	501,410株	8.32%
小林雄祐	264,800	4.39
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	260,300	4.32
小林早苗	227,140	3.77
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE FIDELITY FUNDS （常任代理人 香港上海銀行東京支店）	208,900	3.47
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	199,800	3.31
青山商事株式会社	148,000	2.45
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口9）	120,400	2.00
豊橋信用金庫	110,000	1.82
小林洋平	103,635	1.72

(注) 持株比率は自己株式(881株)を控除して計算しております。

3. 新株予約権等に関する事項

- (1) 当事業年度の末日に当社役員が有する職務執行の対価として交付された新株予約権等の内容の概要（2019年6月30日現在）

回次	新株予約権の数	目的である株式の種類及び数	新株予約権の発行価額	新株予約権の行使期間	保有状況
					取締役
第1回	287個	当社普通株式 2,870株	4,406円	2015年11月18日から 2055年11月17日まで	287個 (5名)
第2回	390個	当社普通株式 3,900株	3,933円	2016年10月19日から 2056年10月18日まで	390個 (7名)
第3回	252個	当社普通株式 2,520株	6,882円	2017年10月18日から 2057年10月17日まで	252個 (7名)
第4回	179個	当社普通株式 1,790株	9,550円	2018年10月17日から 2058年10月16日まで	179個 (7名)

- (注) 1. 上表の各新株予約権は、すべて株式報酬型ストック・オプションであります。
2. 当社は、社外取締役には上表の各新株予約権を付与しておりません。
3. 各新株予約権の行使価額は、全て1株当たり1円であります。
4. 各新株予約権の主な行使条件については、新株予約権者は、取締役、執行役員（委任契約型）のいずれの地位も喪失した日の翌日から10日を経過する日までの間に限り、新株予約権を一括して行使することができるものとする。

(2) 当事業年度中に当社使用人、子会社役員及び使用人に対して職務執行の対価として交付された
新株予約権の内容の概要

名 称	第 4 回株式報酬型新株予約権
発行決議の日	2018年 9 月26日
新株予約権の数	61個
交付人数 当社執行役員 (委任契約型)	4 名
新株予約権の目的である 株式の種類及び数	当社普通株式 610株
新株予約権の発行価額	9,550円
新株予約権の行使に際して出資される財産の価額	1円
新株予約権の行使期間	2018年10月17日から 2058年10月16日まで
新株予約権の主な行使条件	新株予約権者は、取締役、執行役員（委任契約型）のいずれの地位も喪失した日の翌日から10日を経過する日までの間に限り、新株予約権を一括して行使することができるものとする。

4. 会社役員に関する事項

(1) 取締役及び監査役（2019年6月30日現在）

地 位	氏 名	担当及び重要な兼職の状況
取 締 役 会 長	小 林 佳 雄	物語（上海）企業管理有限公司董事長
代 表 取 締 役 社 長	加 治 幸 夫	C E O ・ 取 締 役 会 議 長 Storyteller株式会社代表取締役 物語（上海）企業管理有限公司董事
取 締 役 専 務	芝 宮 良 之	経営理念推進・人事担当
取 締 役 常 務	高 橋 康 忠	F C 事業・店舗・立地開発担当 店舗・立地開発本部本部長
取 締 役	高 山 和 永	ダイバーシティ推進担当
取 締 役	岡 田 雅 道	専門店・新業態事業部事業部長 兼 専門店・新業態事業部肉源ブロックブロック長 Storyteller株式会社代表取締役社長 物語（上海）企業管理有限公司董事 兼 総経理
取 締 役	津 寺 毅	財務・成長戦略担当 管理本部本部長 兼 成長戦略室室長 兼 広報・I R 室室長 Storyteller株式会社取締役
取 締 役	黒 石 明 邦	
取 締 役	笠 原 盛 泰	株式会社ハクヨコーポレーション代表取締役
取 締 役	西 川 幸 孝	株式会社ビジネスリンク代表取締役 本多プラス株式会社社外取締役
常 勤 監 査 役	近 藤 政 博	
常 勤 監 査 役	今 村 泰 也	
監 査 役	岩 田 元	税理士法人タックスワン中部 税理士
監 査 役	天 城 武 治	株式会社平石会計コンサルティング代表取締役

- (注) 1. 取締役黒石明邦氏及び取締役笠原盛泰氏、取締役西川幸孝氏は、社外取締役であります。
2. 監査役4名は、社外監査役であります。
3. 監査役岩田元氏は、税理士の資格を有しており、財務会計に関する相当程度の知見を有するものであります。
4. 監査役天城武治氏は、公認会計士の資格を有しており、財務会計に関する相当程度の知見を有するものであります。

5. 当社は、取締役笠原盛泰氏、取締役西川幸孝氏、監査役近藤政博氏、監査役今村泰也氏、監査役岩田元氏、監査役天城武治氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

(2) 責任限定契約に関する事項

当社は、取締役（業務執行取締役等であるものを除く）及び監査役の責任限定契約に関する規定を定款に設けており、これに基づき当社は、黒石明邦氏及び笠原盛泰氏、西川幸孝氏、近藤政博氏、今村泰也氏、岩田元氏、天城武治氏との間で責任限定契約を締結しております。

当該責任限定契約の内容の概要は、会社法第423条第1項の責任について、善意でかつ重大な過失がないときは、法令に定める額を負担の限度額とするというものであります。

(3) 執行役員（2019年6月30日現在）

地 位	氏 名	担当及び重要な兼職の状況
上 級 執 行 役 員	木 村 公 治	営業担当
上 級 執 行 役 員	堀 誠	マーケティング担当 Storyteller株式会社 取締役
執 行 役 員	細 井 鋼 三	内部統制担当 内部監査室室長
執 行 役 員	伊 藤 栄 志	F C事業推進本部本部長 兼 F C支援室室長
執 行 役 員	蓼 沼 孝 裕	お好み焼事業部事業部長 兼 事業推進グループ グループ長
執 行 役 員	三 宅 泰 嗣	営業企画部部長
執 行 役 員	横 濱 任	社長室室長
執 行 役 員	池 田 兼 孝	焼肉事業部事業部長
執 行 役 員	佐 々 木 亨 明	ゆず庵事業部事業部長 兼 東日本ブロックブ ロック長 兼 事業推進グループグループ長
執 行 役 員	新 田 崇 博	経営理念推進本部本部長

(4) 取締役及び監査役の報酬等の額

区分	人数	報酬等の額
取締役 (うち社外取締役)	11名 (3名)	234,993千円 (17,577千円)
監査役 (うち社外監査役)	4名 (4名)	34,944千円 (34,944千円)
計 (うち社外役員)	15名 (7名)	269,937千円 (52,521千円)

- (注) 1. 上表には、2018年9月26日開催の第49期定時株主総会終結の時をもって退任した取締役1名を含んでおります。
2. 使用人兼務の取締役に對し、使用人分給与は支給しておりません。
3. 2013年9月25日開催の第44期定時株主総会決議に基づく取締役に對する報酬限度額は、年額300,000千円以内であります。また、当該取締役報酬額とは別枠で、2010年9月22日開催の第41期定時株主総会において、ストック・オプションとして取締役に発行する新株予約権に関する報酬額として年額12,000千円以内及び、2015年9月25日開催の第46期定時株主総会において、株式報酬型ストック・オプションとして割り当てる新株予約権に関する報酬等の額を年額24,000千円以内と決議頂いております。
4. 2016年9月27日開催の第47期定時株主総会決議に基づく監査役に對する報酬限度額は、年額50,000千円以内であります。

(5) 社外役員に関する事項

①他の法人等との重要な兼職状況及び当社と当該他の法人等との関係

取締役笠原盛泰氏は、株式会社ハクヨコーポレーションの代表取締役に兼務しております。なお、当社と株式会社ハクヨコーポレーションとの間に特別の関係はありません。

取締役西川幸孝氏は、株式会社ビジネスリンクの代表取締役及び本多プラス株式会社の社外取締役に兼務しております。なお、当社と両社との間に特別の関係はありません。

監査役岩田元氏は、税理士法人タックスワン中部の税理士を兼務しております。なお、当社と税理士法人タックスワン中部との間に特別の関係はありません。

監査役天城武治氏は、株式会社平石会計コンサルティングの代表取締役に兼務しております。なお、当社と株式会社平石会計コンサルティングとの間に特別の関係はありません。

②社外役員の主な活動状況

区 分	氏 名	主 な 活 動 の 状 況
社外取締役	黒 石 明 邦	当事業年度に開催された取締役会17回のすべてに出席し、信用金庫の理事等を歴任した経験や幅広い見識に基づいて、当社の経営に対する有用な助言、その他必要な発言を毎回積極的に行っております。
社外取締役	笠 原 盛 泰	当事業年度に開催された取締役会17回のすべてに出席し、事業法人の経営者として、また地域社会の発展に貢献してきた経歴を通じて培われた幅広い知識・経験等を活かして、当社の経営全般に関する発言を毎回積極的に行っております。
社外取締役	西 川 幸 孝	当事業年度に開催された取締役会17回のすべてに出席し、経営コンサルタントとしての豊富な実績、人事労務管理に関する幅広い知識・経験等を活かして、当社の経営判断に関する発言を毎回積極的に行っております。
社外監査役	近 藤 政 博	当事業年度に開催された取締役会17回及び監査役会17回のすべてに出席し、常勤監査役として主に経営管理・リスク管理の観点から営業、経営全般に関する発言を毎回積極的に行っております。また、随時、各取締役とも意見交換を行っております。
社外監査役	今 村 泰 也	2018年9月26日就任以降に開催された取締役会13回及び監査役会13回のすべてに出席し、常勤監査役として主に経営管理・人財育成の観点から経営全般・人事労務管理に関する発言を毎回積極的に行っております。また、随時、各取締役とも意見交換を行っております。
社外監査役	岩 田 元	当事業年度に開催された取締役会17回及び監査役会17回のすべてに出席し、豊富な会計業務の経験に基づいて、財務分析及び経営計画をはじめとした幅広い事案に対し毎回積極的に発言を行っております。また、随時、各取締役とも意見交換を行っております。
社外監査役	天 城 武 治	当事業年度に開催された取締役会17回及び監査役会17回のすべてに出席し、公認会計士として培われた幅広い知識・経験等から、財務面、コンプライアンス体制や内部統制の構築に関する発言を毎回積極的に行っております。また、随時、各取締役とも意見交換を行っております。

5. 会計監査人に関する事項

(1) 会計監査人の名称 有限責任監査法人トーマツ

(2) 当該事業年度に係る会計監査人の報酬等の額

①当社の当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額 26,000千円

②当社が会計監査人に支払うべき金銭その他財産上の利益の合計額 26,000千円

(注) 1. 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を明確に区分しておらず、実質的にも区分できないため、当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額にはこれらの合計額を記載しております。

2. 監査役会は、日本監査役協会が公表する「会計監査人との連携に関する実務指針」を踏まえ、監査計画における監査時間及び監査報酬の推移並びに過年度の監査計画と実績の状況を確認し、報酬額の見積りの妥当性を検討した結果、会計監査人の報酬等につき、会社法第399条第1項の同意を行っております。

(3) 会計監査人の解任又は不再任の決定の方針

監査役会は、会計監査人の職務の執行に支障がある場合等、その必要があると判断した場合は、株主総会に提出する会計監査人の解任又は不再任に関する議案の内容を決定いたします。

また、会計監査人が会社法第340条第1項各号のいずれかに該当すると認められる場合には、監査役全員の同意に基づき、会計監査人を解任いたします。この場合、監査役会が選定した監査役は、解任後最初に招集される株主総会において、会計監査人を解任した旨及びその理由を報告いたします。

6. 業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況

当社は、「業務の適正を確保するための体制」（いわゆる内部統制システム）の整備構築に係る基本方針を以下の(1)～(11)のとおり定めております。

内部統制システム構築の基本方針

(1) 当社の取締役及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

当社は、当社グループの取締役及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するために「コンプライアンス規程」を定め、その運用と徹底に努めております。また業務分掌規程、職務権限規程、組織規程により取締役及び使用人の職務及び決裁権限内容に基づき、常時取締役及び使用人が閲覧できるよう開示し、業務の執行が定款に適合し行われる体制を確保します。

また、社内におけるコンプライアンスや内部管理統制の適切性・有効性を検証し、問題点の把握に努め、その対策を具体化するために、社長を委員長とする内部統制推進委員会を2ヶ月に1回開催し、内部統制全般の整備と運用を行なっております。そして、当社の職務の執行が法令及び定款に適合し、かつ健全に行われるため、監査役による監査や、社長直轄の内部監査室による各部門に対する内部監査を定期的を実施しております。

さらに、法令上疑義のある行為等について使用人が直接情報提供を行う手段として「内部通報制度」を設置・運営し、不正行為等の早期発見と是正を図ります。

(2) 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

当社は、株主総会議事録、取締役会議事録や稟議書など重要な意思決定などに係る記録は、法令及び文書管理規程に基づき、定められた期間保管します。

(3) 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

当社は、社長を委員長とする内部統制推進委員会が中心となって、想定されるリスクを抽出し、その評価及び対応策を検討した上で、個々の責任部署が対応し、必要に応じて経営会議、取締役会において状況の確認及び必要な措置を検討します。

また、不測の事態が発生した場合には、「リスク管理規程」および「危機発生時対応マニュアル」に則り行います。

(4) 取締役の職務執行が効率的に行われることを確保するための体制

当社は取締役の職務執行が、効率的に行われることを確保する体制として、定時取締役会を月1回開催する他、必要に応じ適宜臨時取締役会を開催し、重要事項を意思決定するとともに職務執行状況を監督します。

また、常勤役員からなる経営会議を原則週1回開催し、個別の経営課題を実務的な観点から協議し、取締役の職務執行が効率的に行われる体制を補完します。

(5) 当社企業グループにおける業務の適正を確保するための体制

グループ各社の所管業務については、業務の適正を確保するため「関係会社管理規程」を定め、経営計画に基づいた施策と効率的な業務遂行に則ったコンプライアンス体制の構築、リスク管理体制の確立を図るため、担当取締役が統括管理します。

当社は、関係会社の自主性を尊重しつつ、グループ各社の担当取締役から、業務執行に関する事項を定期的に当社取締役会および常勤役員からなる経営会議において報告を受けるとともに、重要な決定については「関係会社管理規程」に基づく当社取締役会への付議又は報告を行なうこと等により、グループ各社の職務の執行の効率を確保します。

また、監査役は「監査役監査規程」、社長直轄の内部監査室は「内部監査規程」に準じて、グループ各社の会計に関する監査及び業務監査を行い、管理体制に問題があると認められるときは、意見を述べるとともに、改善策の策定を求めることができるものとします。

(6) 監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する事項

当社は監査役が必要とした場合、社長直轄の内部監査室に所属する使用人が監査役の補助を行います。

また、その選任および解任については、監査役会と事前に協議の上、決定します。

(7) (6) の使用人の取締役からの独立性に関する事項

当社は前号における監査役を補助する使用人の取締役からの独立性を確保するため、監査役の指揮命令下で業務を遂行できる体制を確保し、使用人の人事評価についても監査役会と協議して決定します。

(8) 取締役及び使用人が監査役に報告するための体制その他の監査役への報告に関する体制

当社グループの取締役及び使用人は職務執行に関し、法令・定款に係わる重大な不正行為の事実、または会社に著しい損害を及ぼす恐れのある事実があることを発見した時、並びに業務執行の状況及び結果を監査役に報告します。監査役への報告は、迅速且つ誠実に行うことを基本とし、定期的な報告に加え、必要に応じて適宜行い、定時取締役会のみならず、経営会議及び業績向上会議に常勤監査役が参加し、適宜経営上重要な事項に関する報告を行える体制を整備しております。

また、当社は、監査役への報告をおこなった当社グループの取締役及び使用人に対し、当該報告をしたことを理由として不利益な取扱いを行なうことを禁止し、その旨を当社グループの取締役及び使用人に周知徹底します。

(9) その他の監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制

監査役は、代表取締役との相互の意思疎通を図るため、定期的な会合を開催します。

また、監査役は、会計監査人及び内部監査室との間で、情報交換に努め、連携して当社の監査の実効性を確保します。監査役の職務の遂行にあたり、監査役が必要と認めた場合、弁護士・公認会計士等外部専門家との連携を図れる環境を整備します。さらに監査役がその職務の執行について生じる費用の前払いまたは償還等の請求をしたときは、当該監査役の職務の執行に必要ないと認められた場合を除き、速やかに当該費用または債務を処理します。

(10) 財務報告の信頼性を確保するための体制

当社は金融商品取引法第24条の4の4に規定する内部統制報告書の記載を適正に行うため「財務報告に係る内部統制の評価及び監査の基準に関する実施基準」に準じて、内部監査室が整備・運用状況を調査・検討・評価し、不備があれば、これを是正していく体制の維持・向上を図ります。

(11) 反社会的勢力を排除するための体制

①反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方

当社グループは「企業倫理憲章」「コンプライアンス規程」において、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力との一切の関わりを遮断することを規定しております。

②反社会的勢力排除に向けた体制の整備状況

当社は「暴力団等反社会的勢力の排除及び不当要求対応マニュアル」を策定し、反社会的勢力との関係遮断について明記するとともに、反社会的勢力の排除のための管理体制を以下のとおり整備しております。

イ. 対応部署及び対策委員会の設置

当社は反社会的勢力の対応部署を総務部とし、総務部長が責任者となり反社会的勢力との関係を遮断するための取組みを行います。また、総務部長は必要に応じて管理本部本部長の承認を得た上で、適正な人材（社内・社外を問わず）を指名し、臨時に反社会的勢力対策委員会を設置し、反社会的勢力への対応を行います。

ロ. 店舗における反社会的勢力に対する対応

店舗においての一次対応責任者は店長（不在時は次席社員）としております。また、留意事項に基づき、口頭による緊急報告を手順に従い実施するとともに、「暴力団等反社会的勢力との対応報告書」を作成し対応内容を文書化することとしております。

ハ. 外部専門機関との連携状況

総務部を中心として、所轄の警察署、暴力追放県民会議、弁護士等と緊密に連携しております。

二. 取引先の調査

新規取引先に対しては「新規取引業者対応マニュアル」に準じて「反社会的勢力調査」を事前に実施する仕組みを導入しております。既存取引先に対しては、年1回「反社会的勢力調査」を実施することとしております。

業務の適正を確保するための体制の運用状況の概要

当社グループでは「企業倫理憲章」「コンプライアンス規程」等の規程を制定し、取締役及び使用人の職務執行が法令及び定款に則って行われるよう周知徹底しております。経営幹部にはこれら諸規程を遵守する旨の「誓約書」の提出を年1回義務付け、更なる徹底に努めております。

また、社長を委員長とする内部統制推進委員会を設置し、当社及び子会社のコンプライアンス体制及びコンプライアンスに関する重要方針と運用状況について審議を行い、継続的に改善を進めております。当期においては、内部統制推進委員会は6回開催されております。

(1) 取締役の職務執行

上述の諸規程の遵守徹底に加えて、社外取締役を複数名選任し、取締役会等を通じて社外取締役から発言が積極的に行われる機会を設けることで、監督機能を強化しております。

取締役会は月1回以上開催し、重要事項の決定を社外取締役の監督のもと機動的に行える体制を確保しております。当期においては、取締役会は17回開催されております。

また、業務分掌規程、職務権限規程、組織規程等を定め、各取締役の責任の明確化と効率的な業務の遂行を図っております。

(2) リスク管理体制

「リスク管理規程」に基づいて、内部統制推進委員会が中心となって想定されるリスクを抽出し、その評価及び対応策を検討したうえで、個々の責任部署が対応しております。必要に応じて、取締役会のほか、常勤役員及び執行役員からなる経営会議において状況の確認及び必要な措置を検討しております。

(3) グループ会社管理

グループ会社の担当取締役から、業務執行に関する事項を定期的に当社取締役会及び経営会議において報告を受けるとともに、重要な決定については「関係会社管理規程」に則り当社取締役会への付議又は報告を行うこと等により、グループ会社から事前の承認申請又は報告を受ける体制を整えております。

また、監査役及び内部監査室は、子会社に対する監査を通じて、グループ経営に対応した効率的なモニタリングを実施しております。

(4) 監査役

監査役は、4名全員が社外監査役であり、取締役会への出席及び常勤監査役による経営会議やその他の重要会議への出席を通じて、経営上の重要な事項に関する報告を受けるとともにコンプライアンス体制の整備、運用状況を確認しております。また、代表取締役との相互の意思疎通を図るため、定期的な会合を実施しております。

また、監査役と同室で内部監査室が業務を遂行し、日々の積極的な情報交換を通じて、監査役の職務遂行に必要な情報提供がされるような体制をとっております。監査役が必要とした場合は、内部監査室に所属する使用人が監査役の補助を行っております。

(5) 内部監査の実施

内部監査室は各部門に対する内部監査をそれぞれ年1回ずつ実施し、その結果について社長及び監査役に対して書面による報告をしております。また、四半期毎に経営会議において、各部門の監査結果に基づく内部統制の運用状況や重点課題について報告を行っております。

その他、内部監査室は金融商品取引法に基づく「財務報告に係る内部統制の有効性の評価」を行っております。

~~~~~  
(注) 本事業報告中に記載の金額等は表示単位未満を切り捨てております。

# 連結貸借対照表

(2019年6月30日現在)

(単位：千円)

| 科 目                    | 金 額               | 科 目                      | 金 額               |
|------------------------|-------------------|--------------------------|-------------------|
| <b>(資産の部)</b>          |                   | <b>(負債の部)</b>            |                   |
| <b>流 動 資 産</b>         | <b>8,931,080</b>  | <b>流 動 負 債</b>           | <b>8,118,031</b>  |
| 現 金 及 び 預 金            | 6,260,109         | 買 掛 金                    | 2,055,687         |
| 売 掛 金                  | 1,131,283         | 1年内返済予定の長期借入金            | 1,287,294         |
| 商 品 及 び 製 品            | 323,173           | 未 払 法 人 税 等              | 697,226           |
| 原 材 料 及 び 貯 蔵 品        | 70,446            | 株 主 優 待 引 当 金            | 22,783            |
| そ の 他                  | 1,146,432         | ポ イ ン ト 引 当 金            | 43,703            |
| 貸 倒 引 当 金              | △364              | そ の 他                    | 4,011,336         |
| <b>固 定 資 産</b>         | <b>23,804,640</b> | <b>固 定 負 債</b>           | <b>6,935,946</b>  |
| <b>有 形 固 定 資 産</b>     | <b>18,877,574</b> | 社 債                      | 1,000,000         |
| 建 物 及 び 構 築 物          | 16,136,182        | 長 期 借 入 金                | 3,870,870         |
| 機 械 装 置 及 び 運 搬 具      | 194,208           | 退 職 給 付 に 係 る 負 債        | 329,159           |
| 工 具 、 器 具 及 び 備 品      | 1,776,419         | 資 産 除 去 債 務              | 454,293           |
| 土 地                    | 446,864           | そ の 他                    | 1,281,623         |
| リ ー ス 資 産              | 38,577            | <b>負 債 合 計</b>           | <b>15,053,977</b> |
| 建 設 仮 勘 定              | 285,322           | <b>(純資産の部)</b>           |                   |
| <b>無 形 固 定 資 産</b>     | <b>296,284</b>    | 株 主 資 本                  | <b>17,642,986</b> |
| <b>投 資 そ の 他 の 資 産</b> | <b>4,630,781</b>  | 資 本 金                    | <b>2,719,616</b>  |
| 投 資 有 価 証 券            | 7,497             | 資 本 剰 余 金                | <b>2,584,788</b>  |
| 繰 延 税 金 資 産            | 593,358           | 利 益 剰 余 金                | <b>12,340,480</b> |
| 差 入 保 証 金              | 3,853,672         | 自 己 株 式                  | △1,899            |
| そ の 他                  | 176,253           | その他の包括利益累計額              | △49,262           |
| <b>資 産 合 計</b>         | <b>32,735,721</b> | そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金  | 3,101             |
|                        |                   | 為 替 換 算 調 整 勘 定          | △50,064           |
|                        |                   | 退 職 給 付 に 係 る 調 整 累 計 額  | △2,299            |
|                        |                   | 新 株 予 約 権                | <b>73,709</b>     |
|                        |                   | 非 支 配 株 主 持 分            | <b>14,310</b>     |
|                        |                   | <b>純 資 産 合 計</b>         | <b>17,681,743</b> |
|                        |                   | <b>負 債 及 び 純 資 産 合 計</b> | <b>32,735,721</b> |

連結損益計算書

( 2018年7月1日から )  
( 2019年6月30日まで )

(単位：千円)

| 科 目             | 金 額       |            |
|-----------------|-----------|------------|
| 売上高             |           | 58,924,277 |
| 売上原価            |           | 20,311,238 |
| 売上総利益           |           | 38,613,038 |
| 販売費及び一般管理費      |           | 34,680,034 |
| 営業利益            |           | 3,933,004  |
| 営業外収益           |           |            |
| 受取利息及び配当金       | 16,742    |            |
| 受取賃貸料           | 12,960    |            |
| 協賛金収入           | 781,328   |            |
| その他             | 42,029    | 853,060    |
| 営業外費用           |           |            |
| 支払利息            | 21,672    |            |
| 為替差損            | 46,677    |            |
| 賃貸収入原価          | 9,428     |            |
| その他             | 21,463    | 99,240     |
| 経常利益            |           | 4,686,824  |
| 特別損失            |           |            |
| 固定資産除却損         | 112,664   |            |
| 減損損失            | 227,216   |            |
| 店舗閉鎖損失          | 126,600   | 466,481    |
| 税金等調整前当期純利益     |           | 4,220,343  |
| 法人税、住民税及び事業税    | 1,221,856 |            |
| 法人税等調整額         | 57,259    | 1,279,116  |
| 当期純利益           |           | 2,941,226  |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 |           | 2,755      |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 |           | 2,938,471  |

## 連結株主資本等変動計算書

( 2018年7月1日から  
2019年6月30日まで )

(単位：千円)

|                                   | 株 主 資 本   |           |            |        |            |
|-----------------------------------|-----------|-----------|------------|--------|------------|
|                                   | 資 本 金     | 資 本 金     | 利 益 金      | 自 己 株  | 株 主 資 本 計  |
| 2018年7月1日残高                       | 2,711,136 | 2,576,308 | 9,913,330  | △1,293 | 15,199,482 |
| 連結会計年度中の変動額                       |           |           |            |        |            |
| 新株の発行<br>(新株予約権の行使)               | 8,479     | 8,479     |            |        | 16,959     |
| 剰余金の配当                            |           |           | △511,321   |        | △511,321   |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益               |           |           | 2,938,471  |        | 2,938,471  |
| 自己株式の取得                           |           |           |            | △605   | △605       |
| 株主資本以外の項目の<br>連結会計年度中の変動額<br>(純額) |           |           |            |        | －          |
| 連結会計年度中の<br>変動額合計                 | 8,479     | 8,479     | 2,427,149  | △605   | 2,443,503  |
| 2019年6月30日残高                      | 2,719,616 | 2,584,788 | 12,340,480 | △1,899 | 17,642,986 |

|                                   | その他の包括利益累計額      |                |                  |                       | 新 株<br>予 約 権 | 非支配株主<br>持 分 | 純資産合計      |
|-----------------------------------|------------------|----------------|------------------|-----------------------|--------------|--------------|------------|
|                                   | その他有価証券<br>評価差額金 | 為 替 換 算 定<br>額 | 退職給付に係る<br>調整累計額 | その他の包括<br>利益累計額<br>合計 |              |              |            |
| 2018年7月1日残高                       | 4,857            | △3,845         | △7,986           | △6,974                | 62,983       | 12,369       | 15,267,862 |
| 連結会計年度中の変動額                       |                  |                |                  |                       |              |              |            |
| 新株の発行<br>(新株予約権の行使)               |                  |                |                  | －                     |              |              | 16,959     |
| 剰余金の配当                            |                  |                |                  | －                     |              |              | △511,321   |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益               |                  |                |                  | －                     |              |              | 2,938,471  |
| 自己株式の取得                           |                  |                |                  | －                     |              |              | △605       |
| 株主資本以外の項目の<br>連結会計年度中の変動額<br>(純額) | △1,755           | △46,218        | 5,686            | △42,287               | 10,725       | 1,940        | △29,621    |
| 連結会計年度中の<br>変動額合計                 | △1,755           | △46,218        | 5,686            | △42,287               | 10,725       | 1,940        | 2,413,881  |
| 2019年6月30日残高                      | 3,101            | △50,064        | △2,299           | △49,262               | 73,709       | 14,310       | 17,681,743 |

(注) 連結貸借対照表、連結損益計算書及び連結株主資本等変動計算書の記載金額は、表示単位未満を切り捨てております。

# 貸借対照表

(2019年6月30日現在)

(単位：千円)

| 科 目             | 金 額               | 科 目              | 金 額               |
|-----------------|-------------------|------------------|-------------------|
| <b>(資産の部)</b>   |                   | <b>(負債の部)</b>    |                   |
| <b>流動資産</b>     | <b>8,063,188</b>  | <b>流動負債</b>      | <b>7,718,622</b>  |
| 現金及び預金          | 5,644,721         | 買掛金              | 1,914,865         |
| 売掛金             | 1,094,361         | 1年内返済予定の長期借入金    | 1,287,294         |
| 商品及び製品          | 301,451           | 未払金              | 879,451           |
| 原材料及び貯蔵品        | 69,341            | 未払費用             | 1,349,752         |
| 前払費用            | 462,852           | 未払法人税等           | 697,161           |
| 未収入金            | 377,505           | 受取金              | 7,466             |
| その他の金           | 113,317           | 前受収益             | 338,809           |
| 貸倒引当金           | △364              | 株主優待引当金          | 166,716           |
| <b>固定資産</b>     | <b>24,074,289</b> | ポイント引当金          | 22,783            |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>18,030,826</b> | その他の負債           | 43,703            |
| 建物              | 13,912,669        | <b>固定負債</b>      | <b>6,912,549</b>  |
| 構築物             | 1,479,718         | 社長期借入金           | 1,000,000         |
| 機械及び装置          | 186,918           | 退職給付引当金          | 3,870,870         |
| 車両運搬具           | 7,289             | 資産除去債務           | 325,869           |
| 工具、器具及び備品       | 1,678,392         | 長期預り保証金          | 454,293           |
| 土地              | 446,864           | 長期前受収益           | 848,202           |
| リース資産           | 38,577            | その他の負債           | 123,208           |
| 建設仮勘定           | 280,396           |                  | 290,105           |
| <b>無形固定資産</b>   | <b>294,240</b>    | <b>負債合計</b>      | <b>14,631,172</b> |
| 借地権             | 114,949           | <b>(純資産の部)</b>   |                   |
| ソフトウェア          | 150,192           | <b>株主資本</b>      | <b>17,429,493</b> |
| その他の金           | 29,099            | 資本金              | 2,719,616         |
| <b>投資その他の資産</b> | <b>5,749,221</b>  | 資本剰余金            | 2,592,467         |
| 投資有価証券          | 7,497             | 資本準備金            | 2,592,467         |
| 関係会社株           | 10,000            | 利益剰余金            | 12,119,308        |
| 関係会社長期貸付金       | 983,768           | 利益準備金            | 1,950             |
| 長期前払費用          | 145,681           | その他の利益剰余金        | 12,117,358        |
| 繰延税金資産          | 704,184           | 固定資産圧縮積立金        | 22,096            |
| 差入保証金           | 3,736,983         | 繰越利益剰余金          | 12,095,262        |
| その他の金           | 250,457           | <b>自己株式</b>      | <b>△1,899</b>     |
| 貸倒引当金           | △89,350           | 評価・換算差額等         | 3,101             |
| <b>資産合計</b>     | <b>32,137,477</b> | その他有価証券評価差額金     | 3,101             |
|                 |                   | <b>新株予約権</b>     | <b>73,709</b>     |
|                 |                   | <b>純資産合計</b>     | <b>17,506,304</b> |
|                 |                   | <b>負債及び純資産合計</b> | <b>32,137,477</b> |

# 損益計算書

( 2018年 7 月 1 日から  
2019年 6 月30日まで )

(単位：千円)

| 科 目          | 金 額        |
|--------------|------------|
| 売上高          | 55,871,953 |
| 売上原価         | 19,191,746 |
| 売上総利益        | 36,680,207 |
| 販売費及び一般管理費   | 32,991,087 |
| 営業利益         | 3,689,119  |
| 営業外収益        |            |
| 受取利息及び配当金    | 21,079     |
| 受取賃貸料        | 12,960     |
| 協賛金収入        | 781,328    |
| その他          | 40,741     |
| 営業外費用        |            |
| 支払利息         | 21,672     |
| 為替差損         | 22,783     |
| 賃貸収入原価       | 9,428      |
| その他          | 19,147     |
| 経常利益         | 4,472,197  |
| 特別損失         |            |
| 固定資産除却損      | 112,058    |
| 減損損失         | 203,194    |
| 店舗閉鎖損失       | 93,062     |
| 税引前当期純利益     | 4,063,882  |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,221,791  |
| 法人税等調整額      | △147,987   |
| 当期純利益        | 2,990,077  |

株主資本等変動計算書  
( 2018年 7 月 1 日から  
2019年 6 月30日まで )

(単位：千円)

|                             | 株 主 資 本   |           |           |           |             |            |            |
|-----------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------------|------------|------------|
|                             | 資 本 金     | 資 本 剰 余 金 |           | 利 益 剰 余 金 |             |            |            |
|                             |           | 資 準 備 本 金 | 資本剰余金計    | 利 準 備 益 金 | そ の 他 剰 余 金 | 利 益 金      | 利 益 金 計    |
|                             |           |           |           |           | 固定資産圧縮積立金   | 繰越利益剰余金    | 剰余金計       |
| 2018年7月1日残高                 | 2,711,136 | 2,583,987 | 2,583,987 | 1,950     | 24,302      | 9,614,300  | 9,640,552  |
| 事業年度中の変動額                   |           |           |           |           |             |            |            |
| 新株の発行<br>(新株予約権の行使)         | 8,479     | 8,479     | 8,479     |           |             |            | —          |
| 固定資産圧縮積立金の取崩                |           |           | —         |           | △2,206      | 2,206      | —          |
| 剰余金の配当                      |           |           | —         |           |             | △511,321   | △511,321   |
| 当期純利益                       |           |           | —         |           |             | 2,990,077  | 2,990,077  |
| 自己株式の取得                     |           |           | —         |           |             |            | —          |
| 株主資本以外の項目の<br>事業年度中の変動額(純額) |           |           | —         |           |             |            | —          |
| 事業年度中の変動額合計                 | 8,479     | 8,479     | 8,479     | —         | △2,206      | 2,480,962  | 2,478,756  |
| 2019年6月30日残高                | 2,719,616 | 2,592,467 | 2,592,467 | 1,950     | 22,096      | 12,095,262 | 12,119,308 |

|                             | 株 主 資 本 |            | 評価・換算差額等     |           | 新 予 約 株 権 | 純 資 産 計 合  |
|-----------------------------|---------|------------|--------------|-----------|-----------|------------|
|                             | 自己株式    | 株主資本計      | その他有価証券評価差額金 | 評価・換算差額等計 |           |            |
| 2018年7月1日残高                 | △1,293  | 14,934,383 | 4,857        | 4,857     | 62,983    | 15,002,224 |
| 事業年度中の変動額                   |         |            |              |           |           |            |
| 新株の発行<br>(新株予約権の行使)         |         | 16,959     |              | —         |           | 16,959     |
| 固定資産圧縮積立金の取崩                |         | —          |              | —         |           | —          |
| 剰余金の配当                      |         | △511,321   |              | —         |           | △511,321   |
| 当期純利益                       |         | 2,990,077  |              | —         |           | 2,990,077  |
| 自己株式の取得                     | △605    | △605       |              | —         |           | △605       |
| 株主資本以外の項目の<br>事業年度中の変動額(純額) |         | —          | △1,755       | △1,755    | 10,725    | 8,969      |
| 事業年度中の変動額合計                 | △605    | 2,495,110  | △1,755       | △1,755    | 10,725    | 2,504,079  |
| 2019年6月30日残高                | △1,899  | 17,429,493 | 3,101        | 3,101     | 73,709    | 17,506,304 |

(注) 貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書の記載金額は、表示単位未満を切り捨てております。

# 連結計算書類に係る会計監査人の監査報告

## 独立監査人の監査報告書

2019年8月9日

株式会社 物語コーポレーション  
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 伊藤 達治<sup>④</sup>

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 後藤 泰彦<sup>④</sup>

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 伊藤 貴俊<sup>④</sup>

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、株式会社物語コーポレーションの2018年7月1日から2019年6月30日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

### 連結計算書類に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結計算書類に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、連結計算書類の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による連結計算書類の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、連結計算書類の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結計算書類の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 監査意見

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、株式会社物語コーポレーション及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以 上

# 計算書類に係る会計監査人の監査報告

## 独立監査人の監査報告書

2019年8月9日

株式会社 物語コーポレーション  
取締役 会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 伊藤 達治<sup>④</sup>

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 後藤 泰彦<sup>④</sup>

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 伊藤 貴俊<sup>④</sup>

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、株式会社物語コーポレーションの2018年7月1日から2019年6月30日までの第50期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書について監査を行った。

### 計算書類等に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、計算書類及びその附属明細書の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による計算書類及びその附属明細書の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、計算書類及びその附属明細書の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 監査意見

当監査法人は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

## 監査役会の監査報告

### 監 査 報 告 書

当監査役会は、2018年7月1日から2019年6月30日までの第50期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

#### 1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

- (1) 監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。
- (2) 各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等に従い、取締役、内部監査部門その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法で監査を実施しました。
  - ①取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。また、子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社からの事業の報告を受けました。
  - ②事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社及び子会社から成る企業集団の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。
  - ③会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（2005年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。

(3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。

2019年8月19日

株式会社物語コーポレーション 監査役会

|              |           |
|--------------|-----------|
| 常勤監査役（社外監査役） | 近 藤 政 博 ㊞ |
| 常勤監査役（社外監査役） | 今 村 泰 也 ㊞ |
| 監 査 役（社外監査役） | 岩 田 元 ㊞   |
| 監 査 役（社外監査役） | 天 城 武 治 ㊞ |

以 上

# 株主総会参考書類

## 議案及び参考事項

### 第1号議案 剰余金の処分の件

当社は、収益実績に弾力的に対応かつ安定的な配当を継続することを基本としつつ、将来の事業展開と財務体質の強化に備えるために必要な内部留保の充実も念頭に置き、財政状況、収益状況及び配当性向等を総合的に勘案して配当を決定することを基本方針としております。

当期の期末配当につきましては、以下のとおり前期より5円増配し、1株につき45円とさせていただきますと存じます。

#### 期末配当に関する事項

##### 1. 配当財産の種類

金銭といたします。

##### 2. 株主に対する配当財産の割当に関する事項及びその総額

当社普通株式1株につき金45円

総額270,877,545円

なお、中間配当金として1株につき金45円をお支払しておりますので、年間配当金は1株につき金90円となります。

##### 3. 剰余金の配当が効力を生じる日

2019年9月26日(木曜日)

## 第2号議案 取締役9名選任の件

本株主総会終結の時をもって現任の取締役全員10名（うち社外取締役3名）が任期満了となります。つきましては取締役9名（うち社外取締役3名）の選任をお願いしたいと存じます。

取締役候補者は次のとおりであります。

| 候補者<br>番号 | 氏名<br>(ふりがな)<br>(生年月日)            | 略歴、当社における地位及び担当<br>重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 所有する<br>当社の<br>株式数 |
|-----------|-----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 1         | 加治 幸夫<br>(1956年12月20日)            | 1976年4月 コックドール株式会社入社<br>1983年10月 株式会社中島コーポレーション入社<br>1984年10月 株式会社WD I システム（現株式会社WD I）入社<br>1988年5月 株式会社グリーンハウスフーズ入社<br>2011年4月 当社入社 執行役員<br>2011年9月 代表取締役社長・執行役員社長・COO<br>2016年1月 代表取締役社長CEO・COO 取締役会議長<br>2018年7月 代表取締役社長CEO 取締役会議長（現任）<br>（重要な兼職の状況）<br>Storyteller株式会社 代表取締役<br>物語（上海）企業管理有限公司 董事                                      | 8,500株             |
|           | 取締役候補者とした理由                       | 他社外食企業での豊富な経験と、2011年に当社入社後代表取締役社長として事業統括責任者を務めた幅広い知見を、今後も当社グループの更なる事業発展に十分に活かしていただけると判断し、引き続き取締役候補者となりました。                                                                                                                                                                                                                                 |                    |
| 2         | しばみや よしゆき<br>芝宮 良之<br>(1954年3月8日) | 1977年3月 株式会社デニーズジャパン入社<br>2006年10月 当社入社 立地開発部部长<br>2010年9月 取締役 社長室室長<br>2011年1月 取締役 FC・立地・店舗開発本部本部長<br>2011年9月 取締役・執行役員 FC・立地・店舗開発本部本部長<br>2014年1月 取締役・執行役員<br>店舗開発本部本部長 兼 店舗開発部部长<br>2015年5月 取締役・執行役員副社長 開発担当<br>2017年2月 取締役・執行役員副社長<br>FC事業・店舗開発担当 店舗開発本部本部長<br>2018年7月 取締役専務 経営理念推進・人事担当<br>2019年7月 取締役専務 店舗・立地開発担当<br>店舗・立地開発本部本部長（現任） | 9,800株             |
|           | 取締役候補者とした理由                       | 2006年に入社後、主として店舗開発・立地開発業務に携わり、数多くの新規出店の実績をあげているその経験を、今後も当社グループの更なる事業発展に十分に活かしていただけると判断し、引き続き取締役候補者となりました。                                                                                                                                                                                                                                  |                    |

| 候補者<br>番号 | 氏 名<br>(ふりがな)<br>(生年月日)            | 略歴、当社における地位及び担当<br>重 要 な 兼 職 の 状 況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 所有する<br>当社の<br>株式数 |
|-----------|------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 3         | たかはし やすただ<br>高橋 康忠<br>(1956年5月24日) | 1974年4月 ユタカ設備工業株式会社入社<br>1978年9月 タニザワフーズ株式会社入社<br>1995年12月 有限会社ハイランド設立<br>2006年2月 当社入社 開発本部本部長<br>2006年5月 取締役 開発本部本部長<br>2011年9月 取締役・執行役員 F C支援室室長<br>2014年1月 取締役・執行役員 F C事業推進本部副本部長<br>兼 F C支援室室長<br>2015年2月 取締役・執行役員 F C事業推進本部本部長<br>兼 F C支援室室長<br>2015年9月 上級執行役員 F C事業推進本部本部長<br>兼 F C支援室室長<br>2017年9月 取締役・執行役員 F C事業推進本部本部長<br>兼 F C支援室室長<br>2018年7月 取締役常務 F C事業・店舗・立地開発担当<br>店舗・立地開発本部本部長<br>2019年7月 取締役常務 F C事業担当 M&A担当（現任）<br>（重要な兼職の状況）<br>Storyteller株式会社 取締役 | 9,800株             |
|           | 取締役候補者とした<br>理由                    | 当社入社以降、主としてF C事業の業務に携わり、F C本部としての豊富な指導実績並びにその経験を、今後も当社グループの更なる事業発展に十分に活かしていただけると判断し、引き続き取締役候補者となりました。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                    |
| 4         | おかだ まさみち<br>岡田 雅道<br>(1977年11月7日)  | 2001年11月 当社入社<br>2011年2月 専門店事業部事業部長<br>2013年1月 執行役員 専門店事業部事業部長<br>2014年4月 執行役員 丸源事業部事業部長<br>兼 専門店事業部事業部長<br>2015年2月 執行役員<br>2016年9月 上級執行役員<br>2017年7月 上級執行役員 専門店事業部事業部長<br>2018年7月 上級執行役員 専門店・新業態事業部事業部長<br>兼 専門店・新業態事業部肉源ブロックブロック長<br>2018年9月 取締役 専門店・新業態事業部事業部長<br>兼 専門店・新業態事業部肉源ブロックブロック長<br>2019年7月 取締役 専門店・新業態事業部事業部長<br>兼 専門店・新業態事業部和食ブロックブロック長<br>（現任）<br>（重要な兼職の状況）<br>Storyteller株式会社 代表取締役社長<br>物語（上海）企業管理有限公司 董事 兼 総経理                                      | 5,600株             |
|           | 取締役候補者とした<br>理由                    | 2001年入社以来営業部門を担当し、2011年には専門店事業部事業部長、2016年には物語（上海）企業管理有限公司総経理に就任し当社グループの経営に携わっているその経験を、今後も当社グループの更なる事業発展に十分に活かしていただけると判断し、引き続き取締役候補者となりました。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                    |

| 候補者<br>番号 | 氏名<br>(生年月日)                     | 略歴、当社における地位及び担当<br>重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 所有する<br>当社の<br>株式数 |
|-----------|----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 5         | つでら つよし<br>津寺 毅<br>(1974年8月1日)   | 1998年5月 当社入社<br>2011年10月 成長戦略室室長<br>2015年7月 執行役員 成長戦略室室長<br>2016年9月 上級執行役員 成長戦略室室長<br>2018年7月 上級執行役員 財務・成長戦略担当<br>管理本部本部長 兼 成長戦略室室長<br>2018年9月 取締役 財務・成長戦略担当<br>管理本部本部長 兼 成長戦略室室長<br>2019年4月 取締役 財務・成長戦略担当<br>管理本部本部長 兼 成長戦略室室長<br>兼 広報・IR室室長<br>2019年7月 取締役 財務・成長戦略担当<br>管理本部本部長 兼 成長戦略室室長（現任）<br>（重要な兼職の状況）<br>Storyteller株式会社 取締役 | 2,000株             |
|           | 取締役候補者とした<br>理由                  | 1998年入社以来主に管理部門を担当し、2011年には成長戦略室室長に就任、当社グループの経営に携わっているその経験を、今後も当社グループの更なる事業拡大や経営全般に対する適切な役割として十分に活かしていただけると判断し、引き続き取締役候補者となりました。                                                                                                                                                                                                     |                    |
| 6         | こばやし よしお<br>小林 佳雄<br>(1949年1月7日) | 1973年4月 コックドール株式会社入社<br>1975年4月 株式会社みなと入社<br>1977年4月 株式会社げんじ（現当社）入社<br>1980年4月 代表取締役社長<br>2011年9月 代表取締役会長・CEO<br>2016年1月 代表取締役会長・CMO<br>2017年2月 代表取締役会長・CMO 業態開発担当<br>2017年9月 代表取締役会長<br>2018年7月 取締役会長<br>2019年7月 取締役 特別顧問（現任）<br>（重要な兼職の状況）<br>物語（上海）企業管理有限公司 董事長                                                                   | 501,410株           |
|           | 取締役候補者とした<br>理由                  | 創業者として42年にわたり、当社グループの経営を指揮してきた実績を通じて培われた高い見識とリーダーシップを、今後も当社グループの更なる事業発展に十分に活かしていただけると判断し、引き続き取締役候補者となりました。                                                                                                                                                                                                                           |                    |

| 候補者<br>番号 | 氏 名<br>(生年月日)                      | 略歴、当社における地位及び担当<br>重 要 な 兼 職 の 状 況                                                                                                                                                                                                                                                                      | 所有する<br>当社の<br>株式数 |
|-----------|------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 7         | かさはら もりやす<br>笠原 盛泰<br>(1959年7月5日)  | 1984年4月 有限会社ハクヨ入社<br>2008年3月 豊川市観光協会 副会長（現任）<br>2011年4月 豊川市体育協会 副会長（現任）<br>2013年8月 株式会社ハクヨ（現株式会社ハクヨコーポレーション）<br>代表取締役（現任）<br>2013年11月 豊川商工会議所 副会頭（現任）<br>2014年9月 当社社外取締役（現任）<br>2016年1月 オレンジセオリー・ジャパン株式会社<br>代表取締役（現任）<br>2017年6月 アイレックススポーツライフ株式会社<br>代表取締役（現任）<br>（重要な兼職の状況）<br>株式会社ハクヨコーポレーション 代表取締役 | 一株                 |
|           | 社外取締役候補者<br>とした理由                  | 事業法人の経営者としての実績とともに、豊川商工会議所副会頭として地域社会発展への貢献など、その経歴を通じて培われた幅広い知識・経験等を、当社グループの経営判断に活かしていただけると判断し、引き続き社外取締役として選任をお願いするものです。                                                                                                                                                                                 |                    |
| 8         | にしかわ ゆきたか<br>西川 幸孝<br>(1956年5月19日) | 1982年4月 豊橋商工会議所入所<br>2005年3月 株式会社ビジネスリンク設立 代表取締役（現任）<br>2009年8月 本多プラス株式会社 社外取締役（現任）<br>2016年5月 株式会社買取王国 社外取締役（監査等委員）（現任）<br>2017年9月 当社社外取締役（現任）<br>（重要な兼職の状況）<br>株式会社ビジネスリンク 代表取締役<br>本多プラス株式会社 社外取締役                                                                                                   | 一株                 |
|           | 社外取締役候補者<br>とした理由                  | 豊橋商工会議所や実践的な経営コンサルタントとしての豊富な実績、また人事労務管理に関する数多くの書籍を出版されるなど、その幅広い知識・経験等を、当社グループの経営判断に活かしていただけると判断し、引き続き社外取締役として選任をお願いするものです。                                                                                                                                                                              |                    |

| 候補者<br>番号 | 氏名<br>(生年月日)                       | 略歴、当社における地位及び担当<br>重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                | 所有する<br>当社の<br>株式数 |
|-----------|------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| ※<br>9    | すみかわ まさひろ<br>澄川 雅弘<br>(1954年8月11日) | 1977年4月 三井物産株式会社入社<br>1994年6月 廣州日宝鋼材製品股份有限公司出向 代表取締役社長<br>2003年4月 株式会社もしもしホットライン（現りらいあコミュニケーション株式会社）入社<br>2004年6月 株式会社ビジネスプラス 代表取締役社長<br>2009年4月 株式会社アイヴィジット出向 代表取締役社長<br>2015年2月 株式会社スーミック設立 代表取締役社長（現任）<br>2019年2月 中国語通訳案内士会 代表幹事（現任）<br>（重要な兼職の状況）<br>株式会社スーミック 代表取締役社長 | 一株                 |
|           | 社外取締役候補者<br>とした理由                  | 数多くの民間会社で、中国、台湾など主にアジア地域で各種事業を担当され、海外市場に精通しているほか、事業会社の設立や企業提携、M&Aを通じ、取締役、監査役を歴任されるなどの経営者としての実績から、その知識・経験を当社グループの経営判断に活かしていただけると判断し、社外取締役として選任をお願いするものです。                                                                                                                   |                    |

(注) 1. ※印は、新任の取締役候補者であります。

2. 各候補者と当社との間には特別の利害関係はありません。

3. 笠原盛泰氏、西川幸孝氏及び澄川雅弘氏は社外取締役候補者であります。

4. 笠原盛泰氏及び西川幸孝氏は、現在、当社の社外取締役であります。両氏の社外取締役在任期間は、本株主総会終結の時をもって笠原盛泰氏が5年、西川幸孝氏が2年となります。

5. 当社と笠原盛泰氏、西川幸孝氏の間では、当社定款の規定により、会社法第423条第1項に定める責任について、善意でかつ重大な過失がないときは、法令に定める額を負担の限度額とする契約を締結しております。なお、本議案が可決され、両氏が再任された場合は同契約を継続する予定です。また、澄川雅弘氏が選任された場合は、同氏との間で同様の責任限定契約を締結する予定であります。

6. 当社は、笠原盛泰氏及び西川幸孝氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。両氏が再任された場合は、当社は両氏を引き続き独立役員とする予定です。また、澄川雅弘氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員の要件を満たしており、同氏の選任が承認された場合には、独立役員として指定し、同取引所に届け出る予定であります。

### 第3号議案 監査役2名選任の件

監査役4名のうち、近藤政博、岩田元の2氏が、本株主総会終結の時をもって任期満了となります。つきましては監査役2名（うち社外監査役2名）の選任をお願いいたしたいと存じます。

なお、本議案の提案につきましては、予め監査役会の同意を得ております。

監査役候補者は次のとおりであります。

| 候補者<br>番号 | ふりがな<br>氏名<br>(生年月日)              | 略歴、当社における地位及び<br>重要な兼職の状況                                                                                                                                                                     | 所有する<br>当社の<br>株式数 |
|-----------|-----------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 1         | いわた はじめ<br>岩田 元<br>(1949年1月1日)    | 1972年4月 石橋会計事務所（現税理士法人タックスワン中部）入所<br>（現任）<br>2003年9月 当社社外監査役（現任）<br>（重要な兼職の状況）<br>税理士法人タックスワン中部 税理士                                                                                           | 一株                 |
|           | 社外監査役候補者<br>とした理由                 | 税理士として、財務及び会計に関する相当程度の知見を有しており、その豊富な知識・経験を当社グループの税務・会計処理等の適正性の観点からの監視機能の強化に活かしていただきたく、引き続き社外監査役として選任をお願いするものです。<br>なお、同氏は、過去に会社の経営に関与された経験はありませんが、上記の理由により、社外監査役として、その職務を適切に遂行できるものと判断しております。 |                    |
| ※<br>2    | なかがわ あやこ<br>中川 彩子<br>(1979年6月22日) | 2003年10月 司法試験合格<br>2005年10月 弁護士登録<br>秋田法律事務所入所<br>2009年1月 弁護士法人柴田・中川法律特許事務所入所（現任）<br>2014年9月 名古屋家庭裁判所非常勤裁判官任官<br>2017年9月 当社補欠監査役<br>（重要な兼職の状況）<br>弁護士法人柴田・中川法律特許事務所 弁護士                       | 一株                 |
|           | 社外監査役候補者<br>とした理由                 | 弁護士として培われた幅広い知識・経験等を、当社グループのコンプライアンス体制や内部統制の構築に活かしていただきたく、社外監査役として選任をお願いするものです。<br>なお、同氏は、過去に会社の経営に関与された経験はありませんが、上記の理由により、社外監査役として、その職務を適切に遂行できるものと判断しております。                                 |                    |

(注) 1. ※印は、新任の監査役候補者であります。

2. 各候補者と当社との間には特別の利害関係はありません。

3. 岩田元氏及び中川彩子氏は社外監査役候補者であります。

4. 岩田元氏は、現在、当社の社外監査役であります。同氏の監査役としての在任期間は、本株主総会終結の時をもって16年となります。

5. 当社と岩田元氏との間では、当社定款の規定により、会社法第423条第1項に定める責任について、善意でかつ重大な過失がないときは、法令に定める額を負担の限度額とする契約を締結しております。なお、本議案が可決され、同氏が再任された場合は同契約を継続する予定です。また、中川彩子氏が選任された場合は、同氏との間で同様の責任限定契約を締結する予定であります。
6. 岩田元氏及び中川彩子氏の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会終結の時までとなります。
7. 当社は、岩田元氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。同氏が再任された場合は、当社は同氏を引き続き独立役員とする予定です。また、中川彩子氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員の要件を満たしており、同氏の選任が承認された場合には、独立役員として指定し、同取引所に届け出る予定であります。

以上

メ モ

Handwriting practice lines consisting of 15 horizontal dashed lines.

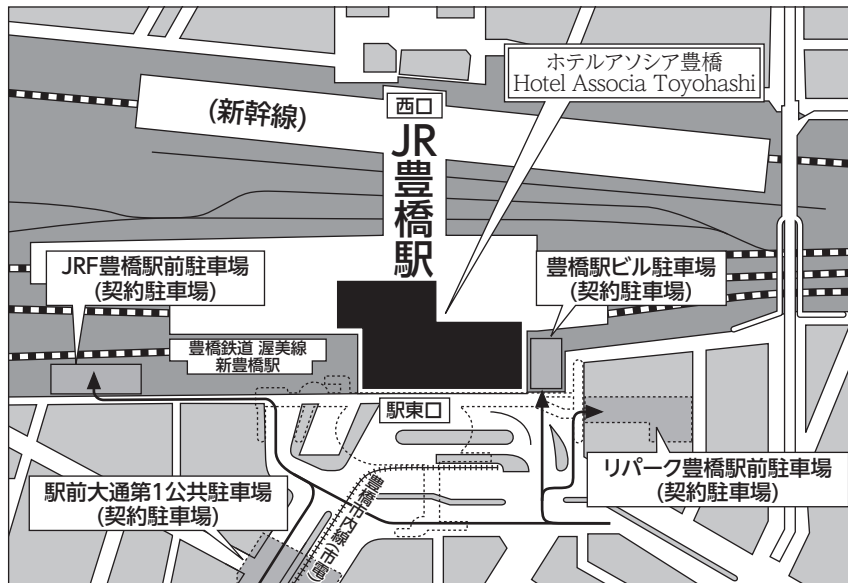
メ モ

Handwriting practice lines consisting of 15 horizontal dashed lines.

# 株主総会会場ご案内図

会場：愛知県豊橋市花田町西宿

ホテルアソシア豊橋 5階「ザ ボールルーム」



交通：J R東海道本線、名鉄本線「豊橋駅」に隣接

ご来場に際してのお願い：会場周辺には公共駐車場等もございますが、当日は大変混雑が予想されますので、公共交通機関をご利用くださいますよう宜しくお願いいたします。



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。